

Gikai



※表紙説明は裏面にあります。

- 新年に向けて … 2
- 定例会報告 … 2
- 委員会レポート … 5
- 一般質問は12人が登壇 … 10

葉山町議会



新年度に向けて 「開かれた」議会 を続行します。

町にとって重要な年になる!!



新年おめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては「令和」になり最初のお正月を新たな気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年4月の統一地方選挙を経て、新たに3人の議員を迎え、民主的で開かれた議会を目指して、この半年間奮闘してまいりました。

昨年を振り返りますと、5月に新天皇が御即位され、新たな元号「令和」時代の幕開けとなりました。葉山町でも御用邸ゆかりの町として、改元記念式典並びに奉祝コンサートが開催されました。

防災に強い町へ

また、9月10月の台風15号、19号では、葉山町においても停電が数日続いたり、屋根や塀が飛散する被害が出ました。19号の襲来時には、約千人の町民が一時避難をするという嘗てない事態になりました。この経験を今後の防災対策等に活かさなければならぬと思います。

オリンピック イヤーに向けて

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック2020開催の年になります。セーリング競技が葉山沖の海域で行われることもあり、3年前から英国のヨットチームが事前キャンプを町内の施設で行ってきました。是非、町民の皆さまと共に楽しみながらオリンピック自体

を体感、堪能し、葉山町を世界に発信する最高の機会としていただければと思います。葉山町に、また一つ、貴重なレガシーが築かれることを期待します。

大規模事業スタート

令和2年度は、ここ数年の本町の課題である学校給食センター建設、クリーンセンター再整備計画、老朽化した学校施設をはじめとした公共施設の再整備に関して、大きく動き出す年度になります。同時に、多額の財政支出を伴う事業にもなります。費用対効果や無駄の無いしっかりとした将来的ビジョンを持つて議論を重ねていく必要があります。町にとって大切な年ともなります。更に、より一層の開かれた議会を、さまざまなシーンで展開し、町民の皆さまとの信頼関係を今まで以上に構築していきたいと思えます。

記 議長 伊東圭介

第4回 定例会

11月28日から12月12日まで開催
しました。
令和元年度補正予算、条例改正
等の審議を行いました。

葉山町一般会計補正予算 (第5号)

歳入

民生費国・県補助金
子ども・子育て支援交付金
(△800万円)

歳出

職員給与費他
(△2076万円)

給料、職員手当等の変動に伴う減額。

※なお、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計および下水道事業会計においても給料・職員手当等の変動に伴う補正が可決しました。

賛成討論



山田

議員報酬の引き上げには反

対であるが、人事院勧告に基づく職員の期末手当引き上げは異存ない。

放課後児童健全育成事業 (△1200万円)

民間学童クラブの整備予定地変更に伴う未執行による減額。

主な質疑

問 学童クラブ施設前の道路の安全性に不安があるが。
答 事業者に対して指導した



学童クラブ前の道路

防災対策費 (284万円)

洪水ハザードマップの作成、災害備蓄用毛布の消毒クリーニング等の費用。

主な質疑

問 洪水ハザードマップの配布状況は。

答 洪水ハザードマップ1万5千部については町内会、町職員で配布する。

問 毛布などの備蓄品の確保は大丈夫か。停電時の電源確保はどうか。

答 備蓄品は大規模災害の際には不安があるが、今のところ充足されている。電源については、議論を重ねていきたい。



クリーニング前の災害用毛布

問 森戸川、下山川などの堆積物の除去など、浸水被害対策は。

答 県と一体となって取り組んでいきたい。

小学校教育振興事業 (765万円)

教科用図書の採択替えに伴う、教師用指導図書の購入。

葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告を勘案し、職員給与について改正を行う必要があるため。

主な質疑

問 非常勤嘱託職員の報酬が年額では増えるが、月額では減る。法の趣旨にそぐわないのではないか。

答 財政的な状況を踏まえ、年収ベースで若干上がるようにした。組合や当事者の方々としっかり議論していきたい。

問 働き方改革の一環として今回の制度改革が行われている。職員の増員は考えられないか。

答 仕事量に応じて正規職員を増やすという従来の考え方ではあるが、雇用者側と被雇用者側の合意のもとにパートタイムの業務についても引き続き採用していくべきものと考えている。

反対討論



窪田

地方自治法を改正して、会計年度任用職という仕組みをつくったことに反対であり、本条例改正に反対である。

賛成討論



待寺

人事院勧告に基づき、本町でも同様の措置をとるものであり、賛成である。町民サービスの向上に向けて、正規職員、非常勤職員を含めて、一層の充実を求める。

葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

一般職員給与改定を勘案し、町長等特別職の期末手当の支給率を改めるため。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

特別職の任用の適性の確保及び会計年度任用職員制度の明確化に伴い、関係条例規定を整備するため。

主な質疑

問 交通指導員と青少年指導員合わせて30人が減るという条例提案になっているが。

答 国のガイドライン等から非常勤特別職の対象になっていないが、引き続き活躍いただし、相当の謝礼を支払う方向で考えている。

問 会計年度任用職員の服務規程が厳しくなるが。

答 しつかり研修なり、情報提供をしていきたい。

反対討論



窪田

会計年度任用職員の導入は、非正規雇用を合法化するもの。地方自治法等が要請する業務の継続性・安全性・専門性に反する。

非正規職員と会計年度任用職員を差別する形の条例改正に反対する。

賛成討論



待寺

交通指導員、青少年指導員に対する町の対応は理解できた。服務規定等重くなる責務にたいして、研修等でサポートするとともに、報酬額などの底上げなどをお願いしたい。

葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(議員提案)

人事院勧告に伴う町の改正の動向を勘案し、議員の期末

手当の支給率を改めるため。

反対討論



山田

職員の手当てを引き上げるようにとの人事院勧告に合わせる必要はない。国民の大多数の実質的な収入が下がり続けている社会状況の中、町民の理解が得られるか疑問だ。



伊藤

議員になって半年、税金から支払われる報酬に対して、今の私が自信をもって仕事ができていると思えない。地方議員のなり手不足、報酬が仕事の対価であること、議員の定数や報酬のあり方の議論、町の財政状況などについては承知している。今回上げてほしくない気持ちで反対する。

賛成討論



近藤

人事院は社会情勢、近年の

物価上昇、経済状況を勘案して決定している。議員報酬について何も規定はないが、議会開会中に限らず活動に従事しなければならぬのが実態だ。過去2度にわたり活動実態調査を行い、現行の報酬となった。議員が議員活動に専念し、勤労者の平均的生活と議員独自の活動が保証される制度の金額を考えた場合、違和感はない。



土佐

この問題は、批判を受けることがないよう、しっかりと議論することが重要。人事院勧告に伴う、町の改正の動向を勘案して提案されており、妥当と判断している。判断はそれぞれであり、供託する場合は法務局に提出された資料を公開すべきだ。客観的に算定された適切な水準であれば堂々と賛成すべきと考える。

葉山町下水道事業会計補正予算（第3号）

資本的収入（3800万円）

資本的支出（3800万円）

国庫補助金の追加交付が受けられる見込みとなったことにより、前倒しで葉山浄化センターの耐震化工事を行うため。

主な質疑

問 耐震化工事により、どの程度耐震能力が向上するか。

答 震度7クラスの地震に対応できるのが目標だ。



葉山浄化センター

葉山町印鑑条例の一部を改正する条例

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行う必要があるため。

主な質疑

問 成年被後見人を意思能力を有しないものに改めるのは良いことだが、意思能力の有無はだれが判断するのか。

答 医師等の判断で行われる。

問 事務取り扱いの規定等はどうなっているのか。

答 資料として、提出する。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書（議員提案）

提案説明（鈴木）

75歳以上の高齢運転者の事故が目立っている。高齢運転者の安全運転を支援するための方策、地域における移動手段の確保策に、早急に取り組むよう国に強く要望する。

豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的対策を求める意見書（議員提案）

提案説明（鈴木）

豚コレラにより、年間14万頭を超える殺処分が行われるなど、甚大な被害が発生している。感染地域についても、広域化の様相を呈している。養豚農家が安心して経営を続けられるよう、豚コレラの終息に向けて、緊急かつ具体的に取り組むよう国に強く要望する。

提案者への主な質疑

問 養豚農家から、国へ意見書が提出されているのか。

答 把握していない。

問 風評被害等が懸念されるなか、養豚農家がいらない葉山が意見書を出すことに違和感がある。生産者の意見が一番大事だ。この問題で、地方議会が意見書を出すことに疑問を感じる。

答 食の安心・安全、食の安価な提供の視点から、先手をうつべきだ。

皆さまから寄せられた **請願・陳情** の審査

さまざまな、町の **問題・課題** の改善、対策

委員会レポート

各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。Committee report



総務建設

盛り土に対する近隣住民の不安を理解して頂くことを求める陳情

下山口の大濱宅地開発事業において、6千㎡の盛り土が予定され、その高さは約2.5mから3.4m、更にその上に囲われる2mの塀は、隣接住宅の住環境へ深刻な影響を与えることが予測され、また地下水による周辺地盤や盛り土への影響も考えられることから、盛り土に対する近隣住民の不安を議会にも理解するよう求めているものです。

現地調査後、審査を行いました。



下山口の開発現場

審査結果

委員から「本陳情は、当該開発事業そのものに反対するものではなく、盛り土に対する近隣住民の不安を理解してほしいという趣旨であり、その願意は十分理解できる」との意見で、採決の結果、全会一致で採択しました。

委員長 飯山直樹

教育民生

安全安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情

誰もが安心して医療・介護を利用できるよう、国へ意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員から「医療従事者等の勤務環境を改善することは不可欠である」との意見で、全会一致で採択し国へ意見書を提出することとしました。

介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国へ意見書の提出を求める陳情

介護制度の真の持続性を確保するために、国へ意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員から「介護従事者の勤務環境や処遇の改善は国の支援策が必要である」との意見で、全会一致で採択し国及び県へ意見書を提出することとしました。



介護の現場

国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

就学支援金制度の拡充と、私学への経常費助成補助の大幅な拡充をするよう、国へ意見書の提出を求めているものです。

審査結果

「国に教育費予算の増額、就学支援金制度と経常費助成補助の大幅な拡充を求めるべきである」との意見で、全会一致で採択し、国へ意見書を提出することとしました。

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

私学助成を拡充するよう、神奈川県へ意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員から「私立学校に対する補助のさらなる拡充を求めるべきである」との意見で全会一致で採択し、県へ意見書を提出することとしました。

国民健康保険均等割の見直しを求める陳情

均等割の見直しを図り、町民の命と暮らしを守る国民健康保険制度となることを求めているものです。

審査結果

委員から「議会の中でも議

論をすべき」との意見で、全会一致により趣旨了承しました。

「幼児教育・保育無償化制度」に関し、認可外保育施設（幼稚園類似施設）に子供を通わせる家庭で、かつ保育の必要性が認定されていない家庭への、葉山町独自の支援に関する陳情

葉山町独自の支援策を実施することを求めているものです。

審査結果

委員から「すべての子どもが平等に教育を受ける権利があり、葉山町独自の支援が必要である」との意見で、全会一致で採択しました。

委員長 鈴木道子



園で遊ぶ子どもたち

議会広報

議会改革

- ・議会本会議開催の告知に関して、役場庁舎入口や町内広報板でのポスター掲出、町内会回覧板にてPRすることを、令和2年度より実施し効果測定も行うこととしました。

委員長 石岡実成

議会運営

議会改革

- ・他自治体の状況を含め協議し、関連質問制度は更に研究を進め、文書質問制度は合意に至らず協議終了としました。
- ・議会基本条例の評価と検証については、参考事例としての他自治体調査が委員会総意のものではなかったため、改めて協議することとしました。
- ・事務局職員による議長車等の運転業務の見直しについて、正副議長から町長へ申し入れを行ったと報告がありました。

委員長 笠原俊一

ICT化推進チーム

議会改革

- ・インターネット中継視聴者がタブレット上の資料を見られるよう、先進自治体を調査することとしました。

- ・本会議場の傍聴席でもタブレット上の資料が見られるよう、検討中です。

- ・本会議場のハウリング対策は、傍聴席に小型スピーカーを設置しました。

リーダー 飯山直樹



傍聴席のスピーカー

総合計画特別

第四期葉山町総合計画の第2期基本計画策定に向け、特別委員会を設置しました。

委員長 待寺貞司

委員会視察報告

視察の詳細、各委員の所感を、議会ホームページに掲載しています。

総務建設

令和元年10月29日～31日

1 滋賀県野洲市

(1) 債権管理条例

(2) 生活困窮者支援

生活保護率は0.4%と、葉山町と同等レベルの低い値ですが、野洲市の生活困窮者支援事業は先進的な取り組みとして注目されています。

考え方の根底にあるのは、生活困窮者を支援し自立した生活を送ってもらうことの方が、結果として支援のための支出が減少し、自立することによって税金が増加する好循環につながることと感じました。

葉山町でも、効率的な一元管理体制づくり等も必要と感じました。

2 兵庫県姫路市

市役所本庁舎夏期室温25℃設定の取り組み

公的施設では夏期室内28℃設定が通例となっていますが、効率が求められる仕事や住民が利用する場所においては、より快適な温度設定が求められています。

全国で初めて室内25℃設定に取り組んだ結果、仕事の効率が上がリ、残業時間が短縮したことで人件費が減少し、また役場利用者も快適に感じられるようになっていきます。今後は他自治体でも25℃設定の動きが広がっていくものと感じました。

3 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

景観まちづくり事業の取り組み

古いまちなみを構成する京町家を保全することが京都の

景観維持の核であるとの考え方から、京町家を保全するための包括的な活動を行っています。景観維持を主体にしたまちづくりについて説明を受けました。

葉山町のまちづくりにとっても景観維持が欠かせないことから、とても参考になるものでした。

まちづくりファンド事業の一例



4 京都府八幡市
コミュニティバスやわた

市内には大きな団地があり、高齢化とともに交通インフラ整備が課題となり、コミュニティバスが発展しました。現在では年間3千万円ほどの補



助により運営されており、利用者数は1便当たり10人を超える高利用率となっています。

葉山町も交通インフラ整備が課題のひとつで、高齢化が進み生活者の足を確保する必要がある、今後も研究をするべきと思いました。

委員長 飯山直樹

教育民生

令和元年11月5日～7日

1 和歌山県古座川町

(1) 地場産業・地域ブランドの振興(獣害対策・ジビエ事業)
有害鳥獣を「山の恵み」と捉え、貴重な地域資源として活用を行っています。

「山の光工房」(鳥獣食肉処理加工施設)が完成し、鹿肉や猪肉をジビエとしての提供、学校給食や革製品への加工を始めました。自前の焼却炉を整備し、利用できない部分等を処理していました。

鳥獣被害が増えている葉山町に参考になる事例でした。



食肉処理加工施設と専用小型焼却炉

(2) 子育て支援の充実(幼児期からの英語教育・保育料の無償化)

平成28年「古座川町子ども教育15年プラン」を策定し、英語教育に取り組んでいます。英会話へのハードルを下げる効果があり、葉山町でも研究が必要と感じました。

2 和歌山県日高町

(1) 高齢者支援対策(外出支援助成金)

町内在住の75歳以上の高齢者に、交通機関利用料として1万2千円分の補助券発行を開始しました。

葉山町でも交通不便地が多く移動手段の確保が必要であり、検討すべきと感じました。

(2) 小学校統合に関する調査研究特別委員会

平成29年2月に将来的な統合の妥当性、必要性を検討し、令和2年4月統合の方向性が示され、平成31年1月に「2校統合」で進めるとの結論が出ました。

葉山町では、統合の必要性の有無を含め、早い段階から町民の意見を丁寧に進めることが必要と考えます。

3 和歌山県広川町

(1) 小・中学校への防災教育の取り組み

学校教育・社会教育に「地域に根ざした防災教育」を掲げています。ジュニア防災検

定や、毎年「世界津波の日」に行われる「稲むらの火祭り」に準備から参加するなど、ふるさとを大切にする人間形成を後世へ繋げていました。

葉山町でも子どもたちが積極的に参加し、力を発揮できる施策が必要と感じました。



(2) 広川町在宅育児支援事業

和歌山県少子対策事業の一環として、0歳児の第2子以降の在宅児童に育児支援を行っています。県補助金に上乗せして3万円を支給し、所得制限も撤廃しています。

事業規模からも葉山町で実施できるか議論が必要ですが、子育て支援へ独自の取り組みの検討が必要と思いました。

委員長 鈴木道子

令和元年 第4回定例会 表決結果

議案・陳情		議員氏名（議席順）	飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡実成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	待寺真司	伊東圭介	結果	関連記事
議案第28号	令和元年度葉山町一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決	P2
議案第29号	令和元年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決	－
議案第30号	令和元年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決	－
議案第31号	令和元年度葉山町介護保険特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決	－
議案第32号	令和元年度葉山町下水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決	－
議案第33号	葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× 討論	×	○ 討論	－	可決	P3
議案第35号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× 討論	×	○ 討論	－	可決	P3
議会議案第1－12号	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	× 討論	× 討論	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○ 討論	◎	－	可決	P4

○は賛成 ×は反対 ◎は提出者

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

全 会 一 致 の 議 案 等		結果	関連記事
議案第34号	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P3
議案第36号	葉山町税条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第37号	葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	－
議案第38号	指定管理者の指定について	可決	－
議案第39～41号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	－
議案第42号	令和元年度葉山町下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	P4
議案第43号	葉山町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	P4
議会議案第1－13号	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める意見書	可決	P9
議会議案第1－14号	介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書	可決	P9
議会議案第1－15号	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）等の人員配置基準の条例改正を求める意見書	可決	P9
議会議案第1－16号	国に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P9
議会議案第1－17号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P9
議会議案第1－18号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	可決	P9
議会議案第1－19号	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書	可決	P9
取下げ第1－1号	「陳情第1－17号 幼稚園類似施設（幼児教育施設）への助成金交付に関する陳情書」の取下げについて	許可	－
陳情第1－18号	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情	採択	P5
陳情第1－19号	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	採択	P5
陳情第1－20号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P5
陳情第1－21号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P5
陳情第1－22号	国民健康保険均等割の見直しを求める陳情	趣旨了承	P5
陳情第1－23号	盛り土に対する近隣住民の不安を理解して頂くことを求める陳情	採択	P5
陳情第1－24号	「幼児教育・保育無償化制度」に関し、認可外保育施設（幼稚園類似施設）に子供を通わせる家庭で、かつ保育の必要性が認定されていない家庭への、葉山町独自の支援に関する陳情	採択	P6

意見書を提出しました

国へ

安全・安心の医療・介護の実現のため
夜勤改善と大幅増員を求める意見書

医療や介護現場での人手不足は深刻な状態である。国においては、安全・安心の医療・介護を実現するためにも、医師・看護師・介護職員の大増員・夜勤改善を図る対策を講じられるよう、次の事項について要望する。

- 1 医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境を改善すること。
- 2 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること。
- 3 患者・利用者の負担軽減を図ること。

国へ

介護施設の人員配置基準の引き上げを
求める意見書

介護現場の人材不足の主な原因は、過酷な労働実態とその労働に見合わない低賃金である。労働環境の改善が進まなければ、今と同じ状況になる懸念がある。

国においては、介護労働者の勤務環境の改善を図り、介護制度の持続性を確保するためにも、介護施設の人員配置基準の抜本的な改善を図るよう、対策を講じられることを要望する。

県へ

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)
等の人員配置基準の条例改正を求める
意見書

超高齢化を迎える中で、介護の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題となっている。

県においては、介護労働者の勤務環境の改善を図るため、介護施設の人員配置基準を条例改正するよう、要望する。

- 1 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)等の人員配置基準を定めた条例を、介護職員及び看護職員の実態に見合った水準まで引き上げる改正をすること。

国へ

国に私学助成の拡充を求める意見書

全国の高校生の3割を超える生徒が私立高校に通い、幼児教育、大学教育においてはその8割を私学教育が担っており、私立学校は、公教育の場として大きな役割を果たしてきたが、その教育条件等の整備の多くは保護者の学納金負担となっている状況である。

国においては、公私の学費格差をさらに改善し、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の増額を要望する。

県へ

神奈川県に私学助成の拡充を求める
意見書

神奈川県の私立学校は、各校が建学の精神に基づき、豊かな教育を作り、本県の教育を支える担い手としての役割を果たし続けている。

埼玉県では授業料と施設整備費を合わせた学費に拡大され、大阪府や京都府でも同様に学費補助を拡充したことで、私立高校へ入学する生徒が増えており、全国へ広がっている私立高校の無償化の流れに本県は遅れをとっている。

神奈川県においては、私学助成の抜本的な改善による私学経営の安定を図り、保護者の学費負担を軽減することが急務であるため、令和2年度予算において私学助成を拡充することを強く要望する。

国へ

高齢者の安全運転支援と移動手段の
確保を求める意見書

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立っている。

国においては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、早急に取り組むことを強く要望する。

国へ

豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ
具体的な対策を求める意見書

昨年9月に国内で26年ぶりに発生した豚コレラは、関係者による懸命の努力にもかかわらず、この1年間に14万頭を超える殺処分が行われるなど甚大な被害をもたらしている。

国においては、今回の事態を国家レベルの危機事案と受け止め、養豚農家が今後も安心して経営を続けられるよう、豚コレラ終息に向け、緊急かつ具体的に取り組むことを強く要望する。

地方自治法第99条の規定により、国会または関係行政庁へ送付しました。

※紙面の都合上要約しています

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで挑みました！！



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと
議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会



総務部長

長期の避難は想定していない

避難所整備

災害時の
避難所の整備は

山田由美



問 災害時に、体育館でくつろぐのは難しい。せめて仕切り壁や、段ボールベッド等の準備をしておくべきではないか。

部長 台風対応なので、長期の避難は想定していない。保管場所の問題等もある。

問 非常時の電源として、移動式ソーラーパネルや、公用車のバッテリー利用の研究は。

部長 容量の問題もあり、発電機を中心に考えている。公用車は電源用とは考えにくい。

問 防災情報メールへの登録を、町内会・自治会で推進するよう働きかけてはどうか。

町長

今あるイベントを応援していく

町の活気

町主催の
イベントの実施は

伊藤航平



問 東京オリンピック開催期間中の町の取り組みは。パブリックビューイングやイベント開催はしないのか。観戦補助制度は。

町長 中学校へのイギリスチーム訪問や応援旗・機運醸成動画の作成をする。

部長 非常に経費がかかるため、今の段階でパブリックビューイングは行わない。

問 ふるさとひろばや町主催のイベントは。

町長 難しい課題がある。イベント等は、委員構成の課題もある。ごみ問題・騒音・衛生、風紀を乱し治安に影響することは避けていた

町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

一般



台風時の避難所

- 部長** 登録は7千件を超えた。通信機器の苦手な方には自治会等の協力も頂きたい。
- ごみ収集**
- 問** 粗大ごみに貼るシール(手数料納付券)を、逗子市内のスーパー等でも扱えないか。
- 部長** まず町内での販路拡大を考える。
- 問** 祝祭日のごみ収集を、やめてはどうか。経費削減の効果だけでなく「ごみを減らすよう工夫して暮らす」という動機付けになる。
- 部長** 月曜日の祝日が多いので、難しい。
- 地域公共交通会議**
- 問** 「地域公共交通会議」を立ち上げては。
- 部長** 県でスマートモビリティ研究会を実施しており、町職員も参加している。
- 8050問題**
- 問** 親が高齢化し、中年になった子どもの「引きこもり」問題が表面化してくるが。
- 部長** 相談先を知らせていく。



役場駐車場でのイベント

- だきたい。維持・継続して歴史を作ることが大切であり、今あるイベントを応援していく。
- 福祉文化会館の活用**
- 問** 維持継続の意思と活用の方法は。
- 町長** 費用対効果ではなく、維持継続は図っていく。設備面の老朽化対策と合わせて利用率向上の課題として検討していく。
- 問** 設備の向上、座席の張り替え、雨漏りもある、今の規模のレベルは下げないか。
- 部長** 劣化診断後、公共施設の優先順位で協議、*FM会議で考えていく。
- *FM会議(みんなの公共施設未来プロジェクト)**
- ダイワハウス所有地の今後の活用**
- 問** 山林の維持管理や景観の保全、観光資源としての活用や町民の活用の取り組みは。
- 町長** 基本的にはダイワハウスの考えに基づくもの。引き続き利用させてもらう。町が主体となった登録制度など、事業展開の仕組みを確立する。

生ごみの堆肥化は
やめた方が
いいのでは

中村和雄



環境部長

さまざまな手法を研究していかな
ばと思っています

生ごみの資源化（堆肥化）施設

問 生ごみ堆肥化の実証実験を行ってきた久喜宮代衛生組合の結果報告をどう見ているか。

部長 比較的簡易な施設で、生ごみを減らすことができるというメリットがある一方、課題もいくつかあると理解している。

問 生ごみに異物が混じらないようにするための分別徹底の可能性、そのための町民の負担、そして割高な経費が問題だ。堆肥としての安全性が確保できるかの問題もある。基本計画の文中の「資源化（堆肥化）」の、堆肥化を削除する考えはないか。

シルバー人材
センターの
安全対策は

近藤昇一



福祉部長

死亡事故を重く受け止め、
指導する

シルバー人材センター

問 シルバー人材センターで作業中の会員が死亡した事故を受けた安全対策は。

部長 事故が増えている。今回の事故を重く受け止め、今後の安全対策をお願いしている。

問 具体的な安全対策は。

部長 改善対策の報告はない。指導したい。

問 安全委員会等を設置すべきでは。

部長 確認し、指導したい。

職員採用

問 消防職員募集に違和感を覚える。26歳を上限で年齢制限を加える一方で、救急救命士

友好都市として
栃木県那須町と
締結しては

荒井直彦



町長

両町の議会や町民の機運が
高まり次第検討する

友好都市

問 平成の時代がおわり、令和の時代になり友好都市として締結し、葉山の歴史に加えてもいいのでは。

町長 同じ御用邸のある町として皇室関係への行政対応や記念事業などについて、今後も相互に意見交換しながら情報共有していく。

問 前向きに推進するものではないか。

町長 決して否定するものではなく、民間の皆さんが盛り上がるのが大事な要素だと思っている。



老朽化したクリーンセンター

部長 さまざまな手法をまだまだ研究しているかなばと思っている。

ケアマネジャー

問 ケアマネジャーの力量によって高齢者の生活の質が変わってしまう。高齢者支援のキーパーソンであるケアマネジャーの研修は。
部長 逗子市との共同で研修を行っている。ケアマネジャーの底力を上げていきたい。

災害対策

問 ハザードマップでは、森戸川と下山川の流域に浸水想定区域がある。警告するだけでなく、具体的に浸水防止対策を講じるべきだ。
部長 国や県に働きかけていきたい。

問 町内会館の整備への助成はしにくい。避難所を整備し、平時は町内会館として利用できる施設を整備するという手法はとれないか。
部長 大事な視点と考えるが、財政的な見地等いろいろ考えて判断することになる。



作業中の会員

の資格を持ったものは33歳まで可能としている。無資格の応募者と不公平では。

消防長 33歳の救急救命士が研修に出ているので33歳という上限を決めた。

問 2年前に救急救命士の資格を持った職員が、生まれ故郷の消防に転職し、「生まれ育った地元で貢献できる喜びを感じています」と述べている。この職員が33歳で今回の募集に応募している。偽装試験ではないか等の声も出て、職員間に不信が広がっている。

町長 指摘の点については、重々含めた上で、今後の採用活動も公平に行えるように努める。

南郷歩道橋の修理

問 町長は歩道橋の防風板の修理を元年度行うと答弁しているが、年度内に完了するのか。
町長 経費の関係で止まっている。

問 放置し何も対策を講じないのか。
町長 改めて検討の俎上に乗せ結めたい。

有害鳥獣

問 有害鳥獣供養塔の必要性は。

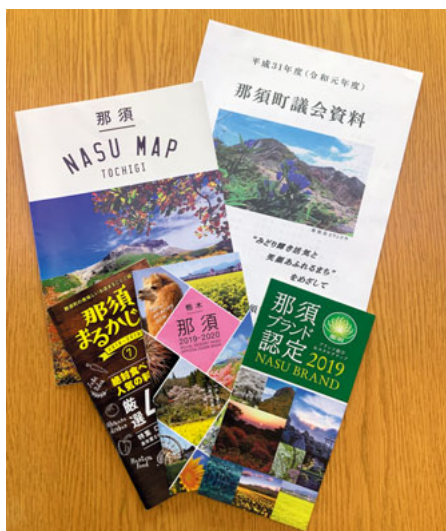
町長 他の市町村を調査したが、行政が設置する鳥獣の供養塔はないと聞いている。慎重に検討しなければならない。ここ数年でイノシシも捕獲実績ある中、供養や慰霊についても情報収集に引き続き努める。

問 有害鳥獣（イノシシ）対策の取り組みの現状と課題は。

町長 捕獲活動を担っている実施隊の継続的・安定的な活動の確保と長期的な視野でイノシシの実態や捕獲技術を継承する体制づくりが求められる。

問 有害鳥獣（イノシシ）の生息範囲が拡大し逗子市や横須賀市でも捕獲されているが。

町長 逗子市や横須賀市と地域を取りまとめる神奈川県と連携し、情報収集並びに捕獲対策に務め、また、緊急時の対応なども含めて協力体制を構築できるように努める。



那須町の発行物

災害への備えは

土佐洋子

町長 防災体制の確立を図る

防災と安全

問 台風15号、19号を教訓にした災害への備えは。

町長 ライフラインの停止が与える影響は多岐に及ぶ。水の供給にも影響のある電力確保の重要性を改めて認識した。停電の対応について検討を進める。備えの重要性について、住民への周知をより一層進めるとともに、自主防災組織や関係機関との連携を強化し、自助・共助・公助による適切な役割分担による防災体制の確立を図る。

問 避難率の低さ、住民が避難をためらう理

学校トイレ清掃の調査と業者指導を

鈴木道子

教育部長 調査して、指導を徹底していく

小中学校のトイレ

問 小中学校トイレの状況を見て回った。特に長柄小学校のトイレ清掃が不備であった。

換気扇に綿ごみがへばりついていたり、仕様書に基づいた清掃状況ではなかった。小中学校共に、故障による使用禁止のトイレが多かった。また、男子トイレの水洗は、小学校1年生用だけは、センサー式自動洗浄機の設置であるが、他は手動である。せめて、小学生くらいはセンサー式自動洗浄機の設置をすべきだが、どうか。トイレの清掃は、学校教育環境にも大きく影響する重要な事項だ。

ペット同行避難専用の避難所開設は

飯山直樹

総務部長 実現には課題が多い

台風への防災対策

問 ペットと一緒にいられる専用の避難所が求められている。実現の可能性は。

部長 場所、対応する職員の問題等があり、実現には課題が多い。

問 ペットとの避難として、車避難はすぐに実現できる。南郷公園を車専用の避難場所とするのは。

部長 長期避難の場合、指定避難所だけでは不足するため車避難の必要性は感じている。

問 台風に対する防災対策は急務である。台風の進路・風速を予測し警戒を呼びかけるこ



浸水を防ぐ土のう

由は避難所の質の問題がある。国際赤十字が提唱する最低基準のスフィア基準にならない、町で改善できないか。

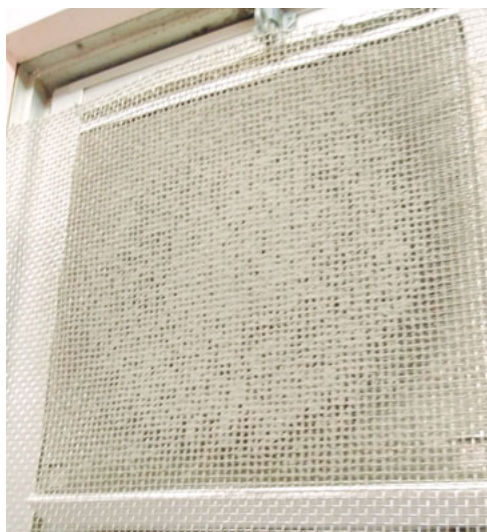
部長 心身ともに疲労困憊の避難者に、少しでも苦痛を伴わずに、ストレスを感じずに生活してもらうことは、避難所を設置する側としての責務。環境の向上に引き続き努める。

東京五輪

問 町としてセーリング競技の応援は。

町長 英国セーリングチームは本町を事前キャンプ地とし、今までどおり大同生命のセミナーハウスをお借りし、支援する予定。五輪本戦を控えているが、キャンプインの5月ごろには中学校への学校訪問を予定しており、引き続き葉山の子供たちとの交流機会も設けられる。町としては、機運醸成動画や応援旗などにより町内を盛り上げていきたい。

その他の質問 はやまクリーンプログラム



小学校のよごれた換気扇

部長 昨日、今日のほりではない。調査して指導していく。センサー式自動洗浄機は葉山小と長柄小の1年生用の小便器に設置したが令和2年度以降、順次整備する。

幼保無償化の助成拡充

問 町独自の助成拡充をすべきだがどうか。

部長 少し、周りの状況を見ていきたい。

公衆トイレの維持管理

問 町内公衆トイレに美観を考慮した上で、破損時の連絡先明記などを掲示すべきだが。

部長 注意事項等も集約した形で掲示する。

補聴器・がん患者ウィッグ購入費助成

問 補聴器やがん患者ウィッグ購入費助成の要望がある。対応すべきだがどうか。

町長 他自治体の情報収集に努め、耳鼻咽喉科との連携等、支援強化に努める。

その他の質問 災害時の対応・食品ロス削減法・ごみステーション



ペットとの避難

とができるのでは。

部長 被害の想定はしているが、風速などのシミュレーションまではできていない。

問 被害の大半は風によるものである。風災害に対し、ハザードマップの提供は。

部長 津波、洪水は地域ごとに分けられるが、風は全域に及ぶ。地形によって傾向はあるようなので研究する。

問 避難レベルの合理的な判断基準は。

部長 数値的な指標ではないが、台風の勢力、進路等、さまざまな情報を加味し判断する。

問 警戒レベルの度合いが認知されていない。改めて周知すべきでは。

部長 防災読本の見直しの中で補足する。

問 情報収集と気分転換のためにも避難所にテレビを設置すべきでは。

部長 ラジオを設置しているが、要望があるので避難所運営委員会で検討する。

京急ふれあいパス
購入費の補助拡充は

窪田美樹



福祉部長
予算編成に向け
計上しているところだ

安心して外出できるまちづくり

問 京急ふれあいパス購入費が増税で上がった。以前の購入費で済むよう補助拡充は。

部長 予算編成に向け計上しているところだ。

問 免許証返上証明書の手続きに千円の手数料がかかる。免許証返上への後押しに返納補助金を設ける自治体やタクシー券発行、清川村ではバス割引券を発行している。導入は。

部長 返納補助金は検討の余地はある。

問 横須賀市でアクセル踏み間違いによる事故防止のため、加速抑制装置補助金が年齢制限なしで始まった。葉山での取り組みは。

歩行者優先の
意識の啓発を

待寺真司



町長
葉山警察に協議を申し入れる

安全安心のまちづくり

問 町道下山橋日影線はスクールゾーンに指定されている。歩行者優先の意識をドライバーに持ってもらうよう取り組みの強化を。

町長 どれみ幼稚園付近を中心にスピードが出やすく、抜け道にもなっている。道路構造の相談にはなかなか応えられていないが、警察の取り締まり強化や掲示による方法も取れる。葉山警察に協議を申し入れる。

問 内閣府と厚生労働省から「キッズゾーン」推進の通知があったが、その対応状況は。

部長 現在、警察・道路管理者・事業者等で

被災ごみの
対応に
問題があった
のでは

石岡実成



環境部長
反省すべき課題もあった。
今後改善に向けて努力する

被災ごみの取り扱い

問 庁舎職員内での対応・アナウンス方法が統一されていないかったのでは。

部長 台風15号、19号については、ごみに関する課題が浮き彫りになったことを痛感している。住民の想いに直接沿えられなかったとの指摘がその通りであれば、対応不足だった訳であり、もっと親切的な対応ができたとも思う。

問 被災ごみ取り扱いの案内・広報の仕方にも問題があったのでは。

部長 住民がどのような要望、情報を必要と



京急ふれあいバス

部長 国の動きを見ながら必要性を検討する。

問 認知症高齢者の衣服などにQRコードシールを貼ることで、行方不明となった時に個人情報保護しながらも、すぐさま確認がとれるシステムがあり経費も安価だ。町へ導入は。

部長 対応が進んでいる所もあり研究したい。

幼児教育・保育無償化への取り組み

問 鎌倉市などは幼稚園類似施設に独自基準を設け、補助がある。同じ園に通っていても町民は無償にならない。違いをどう考えるか。

部長 幼保無償化前からの補助を移行しており、無償化後に始めた自治体はない。国の制度の問題であり、制度自体の変更を注視する。

問 やっていなかったから、やらなくて良いという理由にならない。研究から取り組みを。

町長 独自に枠を広げるのは勇気がある。

その他の質問 災害に強いまちづくり、学校教育の充実



消えかかったダイヤモンドマーク

突き合わせをしている。

参事 スクールゾーンと重なる場所もあり、路面標示が二重になる。外側線や横断歩道の線さえも書いていないなど、維持費の問題等もあるのでトータルで施策を進めるべきだ。

問 横断歩道を知らせるダイヤモンドマークが消えかかっている所が多い。町道に関しては町の予算と町側で対応できるのか。

部長 外側線や安全対策のカラー舗装はできるが、ダイヤモンドマークは警察で行う。

問 東日本大震災で多くの生徒・教員の命が奪われた「石巻市立大川小学校」の裁判が結審し、行政側の不手際が指摘されたが。

町長 日頃からの訓練と、具体的な対応策など議論を深める必要がある。学校長と対話を深め、学校現場と役場の考えをすり合せたい。

教育長 校長が不在で決断の遅れが一因だ。しっかり代行順位を決めるよう伝えている。



被災ごみの対応は

しているのか、もう少し敏感に察知するべきだった。また、ホームページでの専用のページの立ち上げが遅くなったことも反省している。今後は、全ての取り扱いに関して、マニュアル整備等も含めて検討していく。

幼児教育・保育無償化

問 葉山らしい、葉山独自の制度を確立して、3歳から5歳児に関しては認可外保育であっても、ある一定の基準を満たしていれば、保育の必要性の有無にかかわらず無償化とし、0歳から2歳児に関しても、新たなルールを作った上で、段階的な補助をできないものか。また、試算してはどうか。

部長 町でも今後の課題であることは十分把握しているし、概算的な試算もしているが、財政への負担も大きく、制度も始まったばかりなので、しばらくは国の動向等を注視していきたい。

葉山の魅力を高める 実行委員会の今後は

金崎ひさ



政策財政部長

里山整備事業として継続する

木古庭・上山口の活性化

問 地方創生交付金は元年度で終了するが。

部長 三浦半島魅力最大化プロジェクトの里山整備事業として継続していきたい。

問 既にある上山口の棚田の支援を。

町長 観光目的として、ともに協議したい。

問 生活者の不便解消施策は。

部長 高齢者の移動支援を目的に社会実験を行う研究会に参加し、研究中である。

問 世代を超えた交流

部長 保育施設と高齢者施設の交流は。

部長 各保育園とも高齢者と交流している。

議員研修会

10月18日、議員としての資質を高めることを目的とした研修会を、町民の皆さまにも公開して行いました。

今回の講師は、東洋学園大学グローバルコミュニケーション学部教授の古屋力先生にお願いし「なぜいまSDGsなのか。『持続可能な世界構築のための『最後通告』を『自分ごと』として考えてみませんか』と題して地球環境問題について講義を受けました。

誰もが幸福でいられる持続可能な世界の構築に向けた鍵は、「SDGs」にある。「SDGs」は、「未来を変える目標」であり「誰ひとり置き去りにしない」ということ。我々自身が「自分ごと」として考えて実行することが必要不可欠であるとのことでした。

また、古屋先生は、国任せではなく、自治体の主体的な参加が鍵となる。葉山町が「気候非常事態宣言」を全国町村自治体の第1号として宣言してみても、とのアドバイスをいただきました。

記 議長 伊東圭介



研修会の様子



研修を受けた職員・町民と一緒に

町村議会研修会

11月21日、神奈川県町村議会議長会主催の「令和元年度自治功労者表彰式・町村議会議員研修会」が山北町生涯学習センターで開催されました。

自治功労者表彰式では、11年以上の町村議会議員の職にある方5人が表彰されました。

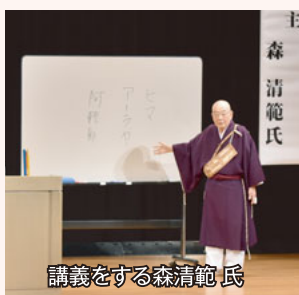
葉山町からは、土佐洋子議員が表彰されました。おめでとございます。



表彰を受ける土佐議員

研修会は皆さまもご存知の通り、毎年12月に発表される「今年を象徴する漢字」を揮毫している、清水寺貫主の森清範氏より「清水の舞台から」と題して講演をいただきました。講演は、元号「令和」の由来や清水寺の歴史から始まり、世の中の争いが何故起きるのか。その仕組みや、そこからの脱却、命の尊さなど、仏の世界観や実際にあったエピソードにユーモアを交えての講演でした。

記 議長 伊東圭介



講義をする森清範氏



2019年の漢字は「令」



残したい里山風景

- 問** 町立保育園で外国人との交流をし、英会話のバリアをなくす教育を試みてはいかがか。
- 町長** 現場に伝え、状況と必要性を議論する。
- 問** 年々空家が増えている。交流の場としての活用など、町として対策を考える時だと思いが空家対策推進事業の内容は。
- 部長** 協議会委員の意見を聞き、福祉サロンなどのマッチングに向け政策部が連携する。
- ごみ行政**
- 問** 鎌倉、逗子、葉山のごみ処理実施計画素案ができたが、ごみ処理の将来展望は。
- 町長** 三浦半島全体で考えたい。
- 問** 当面は2市1町の処理になるが、収集方法は三者三様だ。いずれ統一するのか。
- 部長** 収集方法は違って、同じ精度のものを集める努力をすることになる。
- 問** 2市は有料袋で収集をしているが本町は。
- 町長** 葉山町は有料化しない。

議員懇談会

12月12日、町長招集により開催しました。

ごみ処理広域化実施計画（素案）について
〔パブリックコメント1月6日～2月5日まで〕

計画期間は、令和2年度から10年間で、環境対策や人口減少など社会状況の変化に伴うさまざまな課題に対応していく必要性があり、連携して取り組むことで安心・安全で効率的でかつ持続可能な廃棄物処理体制の構築を目指すとのことでした。

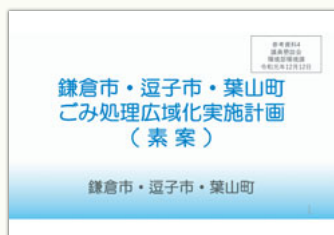
議員からは、可燃ごみ量の将来予測や経費の試算について質疑がありました。

今後の学校給食事業について

- ① 学校給食のソフトとハードの充実
- ② 葉山町学校給食基本方針（案）
- ③ 学校給食センター整備事業スケジュールなどについて説明を受けました。

議員からは、給食センター建設予定地の防災面での懸念や食物アレルギーへの対応、給食費の公会計化・値上げに関して質疑がありました。

記 議長 伊東圭介



説明を受けた資料

意見交換会

10月15日、葉山芸術祭実行委員会と意見交換会を開催し以下のような要望を頂きました。

- ① 葉山芸術祭の期間中、議員向けのガイドツアーを開催し、文化芸術の分野がまちづくりに起因するシーンを体験してほしい。
- ② 「竹あかり」のイベントへ、積極的に参加してほしい。（切り出しの手伝いから製作まで）
- ③ 今後、町の大きな課題となる公共施設問題について「公共施設在り方フォーラム（仮）」を議会と住民との共催で開設してほしい。
- ④ 「地域・創造都市」をテーマにした特別委員会或いは、勉強会を住民参加型で実現してほしい。

11月5日開催の議会広報常任委員会で検討した結果、ガイドツアーと竹あかりへの参加は、各議員任意での参加とし、とりまとめは議会広報で行うこととしました。

次に「公共施設在り方フォーラム」の開設については、11月6日開催の議会運営委員会で検討しましたが、議会の立場として共催することは難しいという判断となり、特別委員会や勉強会については、有志議員で行うべきという結果になりました。

記 広報委員長 石岡実成



意見交換会の様子

表紙説明

1月6日、富士山が鮮やかに映える冬晴れのもと、令和2年葉山町新春の集いが葉山小学校体育館にて開催されました。

恒例となった『葉山御前太鼓保存会』のダイナミックなオープニング演奏から始まり、続いては、『葉山町合唱連盟』のコーラスと一緒に、参加した町民全員で、「葉山町歌」を大合唱しました。

新春の集いの最後を盛り上げてくれたのは、ここ最近、葉山や逗子のイベントで大活躍のキッズチャリディング『リノケイキーズ』の皆さんによる、可憐でキュートなパフォーミングでした。可愛らしい演技に、会場の誰しもが笑顔になり、新年のスタートにふさわしい元気がいっ



葉山町合唱連盟の皆さん



葉山御前太鼓保存会の皆さん



無事に演技を終えて記念写真



金色のボンボンで2020の文字を表現

ぱいのエネルギーを頂きました。キッズチャアの皆さん、ありがとうございました。

議会を傍聴しませんか？

次回定例会は **2/13-3/19** の予定です。

議案審議

2/13(木)
3/13(金)

総括質問

2/19(水)
2/20(木)

一般質問

3/16(月)
3/17(火)
3/18(水)

予算特別委員会

2/21(金)
2/25(火)
2/26(水)
2/27(木)
2/28(金)
3/3(火)

各常任委員会

3/4(水)
3/5(木)
3/6(金)
3/9(月)

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



議会本会議のライブ中継が、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!

議会本会議のライブ映像・録画動画が、いつでも、どこでも観れるようになりました。この機会に、是非、一度ご覧になってください。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記



新年おめでとうございます。令和2年の新春、干支は十二支1番目の子年です。日本ではよく生まれ年の干支で、性格の判断をします。日本昔ばなしで、牛の背中に乗ったネズミがお釈迦様の前で、ぴよんと飛び降り一番になったことや、仲間の猫に競争の日にちを違えて知らせたことから、猫とネズミが宿敵になった話がありました。お正月には、ゲームよりこんなお話はいかがでしょう。さて、町民の皆さまがお読みいただいている議会広報紙は、昨年の定例議会終了後に広報委員会でも何度も作業に当たり発行されたものです。議決された事業や予算、各委員会での審査、議員の質問、陳情の取り扱いなど、写真を含め議会風景を想像していただきたい。また、皆さまとまちづくりの姿勢を共有したい願いを込めて一生懸命作り上げたものです。

1月6日 笠原 俊一 記

議長 伊東 圭介

議会広報常任委員会

石岡 実成 伊藤 航平
中村 和雄 荒井 直彦
笠原 俊一 土佐 洋子
窪田 美樹